

独立行政法人日本芸術文化振興会委託事業
「令和6年度文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業」

日本バレエ界の動向把握に向けた
公演データベース作成および調査

報告書

目次

1章 各バレエ団のX（旧Twitter）活用状況および関連投稿の定量・定性分析……3

2章 バレエ公演データベース作成……25

3章 海外のバレエ団に所属する主な日本出身者（2024/2025シーズン現在）……47

令和6年度文化芸術活動の動向把握に向けた 基礎資料収集事業

事業概要

1. 事業名

日本バレエ界の動向把握に向けた公演データベース作成および調査

2. 事業の趣旨・目的

日本バレエ界のさらなる発展に向けて、現状と取り組むべき課題を多角的に把握するため、以下の(1)～(3)を実施した。

(1) バレエ団SNS活用状況調査

バレエ界におけるSNSのより効果的な活用を目指し、実態把握を行うため、日本のプロのバレエ団および、日本の団体が参考とできそうな規模の海外のバレエ団について、X(旧Twitter)の活用状況に関する調査および、関連投稿の定量・定性分析を行った。

調査結果を、今後の日本バレエ界における観客拡大に向けた取り組みに活かしたい。

(調査：昭和音楽大学バレエ研究所)

(2) バレエ公演データベース作成

日本バレエ界の概観把握や傾向分析を行うにあたって、バレエ公演に関する基礎データの収集・整備は不可欠である。日本バレエ団連盟ではこれまで「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」の一環として、昭和音楽大学バレエ研究所の運営する「バレエアーカイブ」を活用した公演データの整備を実施してきた。令和6年度は、本事業の一環としてデータ整備を継続して行い、収録データのさらなる充実を図り、日本バレエ界のさらなる発展に資するデータベースとすることを目的とする。

(調査：昭和音楽大学バレエ研究所)

(3) 海外で活動する日本人バレエダンサーの調査

習い事文化が広く根付いている我が国において、バレエは人気の習い事であり、その広い裾野から優秀なダンサーが育ち、国際的に活躍している。日本バレエ団連盟ではこれまで「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」の一環として、平成30年度より継続して、海外で活躍する代表的な日本人ダンサーのリストを作成・公開し、リストはバレエ関係者に広

く参考とされてきた。令和6年度は、本事業の一環としてこの調査を継続し、国外を拠点として活動するバレエダンサーたちの実態把握を行う。